



第43号

発行所  
〒799-1101 愛媛県西条市  
小松町新屋敷乙42-1  
小松高等学校  
養正会  
印刷 株式会社サラト

### ごあいさつ

養正会会長 工藤 憲 治



今年、一月

中甸に日本国内で初めて新型コロナウイルス感染者が出てから急激に感染拡大が起きています。養正会の入会式が行われた。それ以降もコロナの感染の勢いは衰えることがなく広がっています。特に大都会は大変な状況が続いています。養正会では、いろいろな状況を踏まえて今年の総会を中止することといたしました。

### コロナから新しい学びの時代へ

校長 森 岡 淳 一



養正会の皆様には日頃より多大な御支援、御協力をいただき、厚く感謝申し上げます。本年度はコロナ禍の中、

五月の本部総会をはじめ全ての支部総会が中止になり、皆様にお会いできなかつたことを大変寂しく思います。来年度は、皆様と笑顔でお会いできますことを心より期待しております。

振り返ってみますと、国の緊急事態宣言に伴い、小松高校においても、三月四日から春休みまで臨時休業、入学式を時間短縮・参加者制限で行うという異例の新年度のスタートでありました。その後、四月一日から五月一日まで再び臨時休業となり、生徒、教職員とも、大きな不安に包まれました。しかし、この期間は、学校が生徒の命を預かる場であるということとを教職員一同、改めて考える機会となり、生徒の学力保障、心と体の健康について、議論を重ね、学校再開への準備を進めました。

臨時休業の期間中には、学びを継続するために、ホームページで生徒に課題を提示したり、YouTubeで自作の学習動画

松山支部・関西支部・関東支部の各支部も苦渋の選択で中止を決定されたことと思います。養正会として、全ての行事が中止となり皆さんにお会いできる機会が失われたことを大変残念に思っています。来年は元気で会いできることを楽しみにしています。

今年度の小松高祭はコロナ禍の為に午前中のみの開催でしたが、養正会として初めて一色龍太郎さん(昭四五卒)の写真を展示させていただきました。また、毎年卒業五〇年の皆さんには母校より卒業式の招待状が届きますので出席されて同級生と久しぶりの再会を楽しんでください。

小松高校では、コロナ感染症対策をしっかりと取り卒業式を行い卒業生が巣立っていきました。四月には入学式も行

したハイブリッド型の協働的な学びが見えてきました。七月中旬から練習試合が再開され、種目によっては八月から本格的に開催されています。運動部では、野球部が秋季県大会第三位で四国大会に出場し、準決勝で見事な戦いを見せてくれました。また、バレーボール部男子は、一月の選手権大会愛媛県代表決定戦第三位になるなど、多くの部が活躍しています。

文化部の活動も充実したものとっており、県高文祭には二名が参加して、各部とも本校の文化活動の高さを大いに披露してくれました。特に、日本音楽部は二八日目の優秀賞に輝き、来年度一〇回目の全国大会への出場を決めました。また、吟詠剣詩舞でも、二名が全国大会への出場権を得ています。

最後になりましたが、養正会の一色龍太郎様には、小松高祭において写真展を開催していただき、厚くお礼申し上げます。生徒・教職員・PTA、皆が石鎚山に抱かれて生きた人々の暮らしの風景と自然を、時代の変化に思いを馳せながら楽しませていただきました。誠にありがとうございました。

本日三月一日、この養正が丘を三三一名の生徒が巣立ちます。今後とも、本校のみならず卒業生への変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

うことができましたが、新学期そうそうに緊急事態宣言が発令され学校が休業になり新しい生活が止まってしまう。これを乗り越えて頑張って楽しい学生生活を送ってほしいと思っています。

本日に大変な年となりましたが、二年後には小松高校の一五周年が行われます。併せて養正会では会員名簿の五年ごとの発刊を行います。今年から会報を全会員に配布し養正会の活動と現状、母校の取り組みと現状をご理解いただきご支援ご協力をいただければと思います。

これからの養正会は会員の皆様のご提案も生かし、先輩達が築かれた礎を大切に、母校愛を持って会の運営にあたってまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げご挨拶といたします。

ごあいさつ

養正会副会長 藤岡直哉



養正会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝・ご活躍の事とお慶び申し上げます。平素は、養正会の活動にご理解・ご協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

さて、令和2年度は新型コロナウイルスの影響であらゆる活動が停止・停滞をして多くの方々へ多大な影響が及びました。世界中で、猛威を振るい約数千万人の感染者が発症し200万人の方がお亡くなりになりました。日本においても、累計で15万人以上の方が感染し2,000人位の方々がお亡くなりになりました。そして、このウイルスはまだまだ猛威を振るっている状況です。感染被害だけでなく、経営・経済的な困窮被害にあわれた方も多数いらっしゃる事と推察されます。被害にあわれました皆様には、心よりお見舞い申し上げます。(数値は20年11月現在です)

養正会の事を申しますと、本年度は活動のほとんどを行う事ができませんでした。本部総会や支部総会も例年なら盛大に開催させていたいただき、皆様との交流も手厚く行っていました。但し、本年度は全て中止になりとても残念な思いです。早く皆様方にお会いしたい思いが日々強くなっているところであり。令和3年度こそは、皆様にお会いして変

わらぬ親交を交わせる事と信じておられます。よろしくお願いいたします。これからの世界や日本での生活も大きく変化していくと思われ。働き方や、学生の学び方等...全ての事が新しい観点で創られていく事でしょう。世の中の業態が今まで以上のスピードで変化し、生活の仕方そのものも大きく変わっていきます。そんな中、私たち養正会の会員は母校小松高校で学んだ理念や自身が培ってきた信念のもとで一步一歩着実に進んで行く事ができると信じております。工藤会長がいつもおっしゃっているように、これからも私たち養正会の会員(同窓生)は母校小松高校の発展のために、微力ながら力を注ぎ続けてまいりたいと考えております。厳しい世情の中でも文武両道で一生懸命頑張っている後輩の皆さんの活躍を見る度に、私たち卒業生も力づけていた。今後は益々養正会へのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。最後に申し上げますが、これからも養正会の行事へご参加願います。そして母校への愛情を、より一層深めていただきますようお願い申し上げます。また皆様にお会いできる事を楽しみにしております。

松山支部

母校への思いを...



松山支部長 中原 由美子

世界的に猛威をふるう新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、昨年の松山支部総会をやむなく中止する事となりました。3月以降の外出自粛要請、3密の回避によるイベントの中止、更には学校の休業等、私たちの身の回りの生活は強く影響を受け日常生活も大きく変化しつつあります。多くの学校行事の中止、延期、縮小が余儀なくされる中、9月には漸く一般客の入場が可能となった高校野球愛媛県大会が開催されました。

関西支部

養正が丘の誇り



関西支部長代行 藤木 はるみ

このたびは関西支部長代行の任に就きました昭和四二年卒業の藤木はるみでございます。どうぞよろしくお

コロナ禍の規制により、例年通り応援団を結成しての応援を送る事はできませんでしたが、母校への思いを一にした大会が開催された喜びに、当たり前であった日々の行動、生活がかげがえのないものである事を改めて考えさせられました。他の競技や大会の会場にも足を運び、心からのエールを送りたいと思います。また、日々、『Tranquility』かけがえのない思い出を！胸に刻んでいる全ての在校生を勇気づけるサポーターとして、養正会の活動を通じ今後も応援していきたいと思っております。

一日も早いコロナウイルス感染の収束を願い、例年のように多くの同窓生が集う支部総会の開催を目指し、感染状況を踏まえつつ準備を進めていきたいと思っております。生活スタイルの変化に伴いオンラインを併用しての開催も一つの手段ではと考えております。

願ひ申し上げます。また関西支部に対して日頃より御理解と御協力を頂き、心より感謝と御礼を申し上げます。本場に有難うございます。さて、今懐かしい石鎚の山々に思いを馳せながら、歴史を刻んだ母校を目の前に、更に微力ではありますが、ますます大発展されますよう、尽力して参りたいと思っております。現在人類はコロナ禍という未曾有の困難に直面しております。この負

株式会社 むらかみ 愛媛県西条市三津屋南15番5 昭和40年卒業 村上 省三

アールスタジオ PHOTOGRAPH 西条市三津屋南4-42番地 昭和45年卒業 一色龍太郎

石鎚神社 愛媛県西条市西田甲797 昭和55年卒業 武智 正人

の面を打破し、本年は関西支部として、更に連携を密に、皆様とお会いできて、こんなにも希望がもてた、喜びが倍加したという、未来志向に富んだ総会を目指して参りたいと思っております。

さて、母校には、二等辺三角形の立派な養正会館が、養正が丘に堂々とそびえております。この「養正館」開学の祖であり、「伊予聖人」と呼ばれた「近藤篤山先生」この先哲の教えを、わずかでありますが学ばせていただき、大感動しております。

その教えは、「三戒」「四如の諭」です。「三戒」とは、立志・求道・慎独で人は生まれもった才能を高めるために、更に学ばなければならぬ。失敗しても人のせいにはせず自分に悪いところがなかったか、反省しなさい。他人が見ていても、見ていなくても同じ態度でいなければならぬとの教えです。また「四如の諭」とは、目上の人にはきちんと接することが大切であると説かれ、また、篤山先生は、両親に対しても真心を生涯貫かれました。

また人間らしく誠実に生きることで、そして生涯自分に打ち勝つ努力をすることをおしんではいけないことを教えています。

また、何事にも自分の立場で精一杯励むこと、そして、一人ひとりが自分の行いを慎むことを説いています。この素晴らしい、先哲の教えを基本とした教育を学んだ私達同窓生は、誇りにして参りたいと思いません。不思議にも御縁のある皆様方ではないでしょうか。

今やこの同窓生は、関西東京、いな世界中で活躍をされております。法曹界、学術界、政界、経済界、町内会等々本場に立派だと思えます。

この皆様方が、年に一回、一堂に会し、なつかしいふるさと、また学生時代の思い出を語り、喜びを共有して参りましょう。

### 関東支部

#### 伝統を祖述する



関東支部長 矢野 光治

今年世界的な規模でのコロナ禍が発生し、全ての社会的な日常活動が停止もしくは制限される事態に追い込まれ、同窓会も地域の会合すらできない状況で今日を迎えております。従って例年のような活動報告はありませんが、この機を得て徒然なるままに日頃考えている同窓会活動のあり方（私見）について触れておきたいと思えます。

同窓会活動は単独で存在するものではありません。現役の生徒、教職員そして同窓会会員が三位一体となつてそれぞれの立場で役割を果たしながら活動するものだと思えます。同窓会活動を活性化するには、三つの柱があると考えています。まずは、現役の生徒が学業・クラ

関西支部総会は、コロナ禍の影響で開催できるかどうか厳しい状況ですが、本年の八月上旬に開催の予定です。盛大に、にぎやかな希望溢れる総会にして参ります。

どうぞ皆様方の御参加をお待ち致しております。また、是非変わらぬお力添えを宜しくお願い申し上げます。

ブ・ボランティアなどの活動において活発に取り組む、できれば顕著な成果をあげてもらうことが重要です。そこには校長先生を始め、教職員の熱心な指導をいただかなければなりません。それを後方支援していくことが同窓会の役目の一つでしょう。直近では、二〇一四年母校野球部が甲子園出場を果たしたときに、三者が一体化して大いに盛り上がりを見せたことはまだ記憶に新しいところです。

次には、「伝統を祖述する」ことです。私学なら創設者の建学の精神に沿って教育が行われます。公立ならさしずめ「校是・校訓」に相当するのでしょう。母校の創立が、小松藩校に端を発していることは周知の事実です。校名や同窓会の呼称もここに由来しています。その意味で一柳藩侯の賓師であつた近藤篤山翁は、母校で学問をする生徒にとつては「学びの祖」にあたります。この家庭でもご先祖を大切にされ、時期に応じて厚く供養をします。中国儒教では、人は死後、肉体は滅んでも靈魂は生きて魂魄となり天地宇

宙の間を浮遊していると考えています。そこから先祖供養は大事だという考えが出てきます。浮遊しているご先祖の魂魄を放置しておくわけにはいきません。依り代（ヨリシロ、死者の魂が帰ってくる場所）を用意してそこにご先祖の魂魄をお迎えし、手厚く供養します。ご先祖を大切にすることは、その家の未来の繁栄に深く繋がると教えています。これらの精神や行為を「伝統を祖述する」といいます。学祖を敬い、折に触れ

学祖を記念し、次世代へと継承していくことは、今後、母校発展への精神的な支柱となることでしょう。現在、現役生徒が学祖のお墓掃除をしているとのこと、これは「伝統を祖述する」実践的な行為で、とても素晴らしいことです。母校の新入生には、入学直後の学祖篤山翁の遺跡巡りをオリエンテーション活動の一環として位置付けてほしいものです。このイベントでは地域との交流も可能にし、同窓会が支援をする場も出てくると思えます。

最後は、同窓会本来の目的である会員相互の連絡や交流を通じて親睦を図り促進するという当面の取組です。先ずは会員自身、この会の中で楽しんでもらうことが同窓会の「核心的活動」です。

二〇二一年度関東支部の総会は、従前と同じ八月末に帝国ホテルで開催することを予定しております。来年の行事ゆえ何かと不透明な要素が多い世情ですが、開催可能の際には、是非、関東の総会へご参集いただきますようお願いいたします。

OA情報機器・オフィス家具・文具・事務用品

**植木事務器 新居浜店**

〒792-0023 新居浜市繁本町9番51号  
TEL (0897) 32-4729番  
33-3929番  
FAX (0897) 33-3929番

昭和44年卒業 植木 淳二

エディオン小松店 **EDION**

**有限会社 岡本**

〒799-1101 西条市小松町新屋敷甲2057-1  
TEL:0898-72-6215 FAX:0898-72-6216

昭和53年卒業 岡本 哲典

**森本電機**

愛媛県西条市東町295番地

平成元年卒業 森本 史朗

# 学 校 行 事

◆令和二年二月二七日、令和元年度卒業生一三三名が養正会に入会した。

当日の入会式には工藤会長が出席し、新入会者への感謝と激励などを述べ、記念品を贈呈した。和やかに進行了入会式は非常に有意義な時間であった。

◆令和二年四月八日一三五名の新入生が入学した。

コロナ感染症の感染防止対策により、出席者の人数制限、行事の時間短縮など特別な入学式となったが、新入生は緊張感の中、新しい門出に決意を持ち、高校生活のスタートとなった。

◆令和二年度はコロナ感染症による休業、学校再開後のクラスマッチ中止、修学旅行延期など行事の制限があり生徒への影響が多く出た一学期であったが、短い夏休み後の九月には体育大会、十月の文化祭、十一月のウォークラリー大会を縮小ながら実施し、生徒の活動に努めた。特に三年生の思い出を一つでも多くと全校で考え行動しました。



▲ウォークラリー



▲小松高祭



▲入学式



▲養正会入会式

## 野球部を支えるOB達

本校野球部OBらが所有・運営する『小松石鎚寮』があり遠隔地からの野球部員が皆仲良く共同生活しています。

小松高校で野球をすることを志し遠隔地から来る生徒たちの受け皿として野球部OBが管理・運営する「小松石鎚寮」があります。

今年の秋季四国地区高等学校野球大会では、惜しくもあと一歩のところまで決勝進出を逃しましたが、初のベスト4進出と大健闘しました。

練習を終え石鎚寮に帰る生徒たちを毎日迎えてくれるのは、野球部のOBそして寮を支える方々です。楽しみは言うまでもなく食事と迎えてくれるOBの方々の温かさではないかと思えます。

野球選手としての体力作りに欠かせないのが食事です。毎食手作りの温かい料理が提供されます。実家を離れて生活する生徒たちをわが子のように見守りながら食事作りをする同窓生である安藤(旧谷口)さんと皆さんです。安藤さんからのメッセージです。

「毎日頑張っている寮生たちに元気をもらっています。大事な先輩たちです。温かく見守り【小松高校を母校】として誇れるようにと寄り添っていききたいと思っています。」



寮運営全般を管理するOBの平塚英治さんからのメッセージです。「寮生が野球と勉強に集中した生活を送れるように地域の人々の協力を得ながら支援していきます。」

皆さん【甲子園で校歌を聞きましょう!】



石鎚山 真言宗

### 総本山 極楽寺

昭和44年卒業 神野 顕彰

## 工藤石油株式会社

西条市大町1215-1 〒793-0030

昭和44年卒業 工藤 憲治

KoHo architect+associates

### 株式会社 宏 朋

西条事務所 799-1101 愛媛県西条市小松町新屋敷甲1858-1  
tel 0898-72-5533 fax 0898-72-5539  
松山事務所 790-0441 愛媛県松山市桑原3-4-6  
高松事務所 791-0481 香川県高松市由良町53-1  
website <http://www.koho-architects.com>  
e-mail kmh@koho-architects.com

# 卒業してから五十年

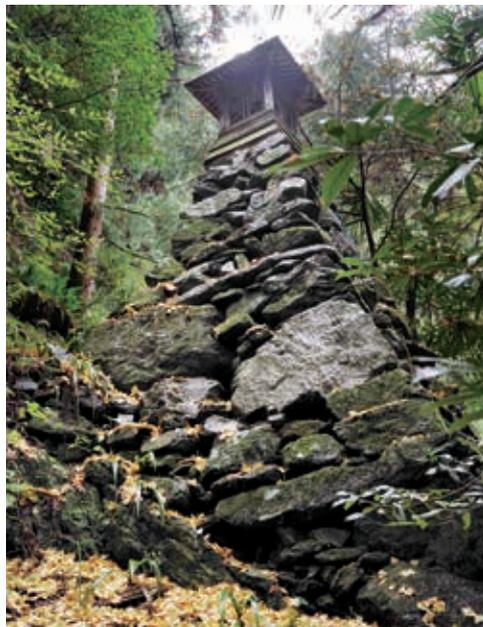
一色 龍太郎



小松高等学校を卒業してから、今年で五十年目を迎えることができました。その記念すべき年に、本年度の文化祭で写真展の開催依頼を、養正会役員の方々から、かねてからいただいていた。今年はコロナ禍ということもあり、開催が危ぶまれていましたが、規模や開催時間を縮小し、午前中のみで開催となりました。私の担当の写真展も養正会館で約三時間足らずの短時間の写真展でしたが、卒業生や先生方、生徒の皆さん方に観ていただきました。写真展開催中は在館し、見晴らしのいい会場の二階の窓から、卒業以来初め

てゆっくりと校内やあたりを、懐かしく見渡すことができました。広い運動場を囲む、目を見張るほどの高いフェンスと、ナイター設備には感銘を受けました。運動場の背後に見える丘や山並み、そして、一番向こうに勇壮な姿で鎮座する石鎚山などを眺めながら、半世紀前の、おぼろげな記憶を手練り寄せながら、思いを巡らせていると、高校時代の思い出が、少しずつにじみ出るようになってきました。ほんとうに、よく遊び謳歌した高校時代でした。

高校一年の夏休み、瓶ヶ森から石鎚山への二泊三日の「小松高校登山合宿」に参加したことも、高校時代の懐かしい思い出の一つです。その登山合宿で山行の魅力を感じ、その後は数知れず程、石鎚山系の夏山や冬山に登りました。十年程前から、山の頂を目指す登山よりも、石鎚山系



の山間や麓あたりを訪れることが多いになりました。そして、過疎化、限界集落化の波にもまれながらも、大自然の中で自然と共に人が暮らす、暮らしの風景や、そこに在る民俗遺産などを探して歩き、写真で記録をしています。

今回の文化祭ではその一部を展示させていただきました。また、「石鎚山に抱かれて」というタイトルの写真集も六月に出版しました。

小松高校図書館や西条市内各図書館、県内主要図書館にも置いてありますので、よろしければご高覧ください。

愛媛県知事免許(12)第1944号

お部屋さがし・住まいの売却・購入は  
**有限会社 東予住建**

営業時間 / 9:00 ~ 18:00  
電話 0898-64-1123

昭和61年卒業 芥川 雅旨



799-1371 愛媛県西条市周布822-2  
**たかはし歯科** TEL 0898-68-0222

昭和54年卒業 高橋 圭三



株式会社 **丹下興産**

昭和39年卒業 丹下 輝子  
昭和45年卒業 眞田 浩州



株式会社 **ミツワ電気商会**  
OA情報機器事業部

〒791-0506 愛媛県西条市丹原町徳能甲75番地7  
TEL 0898-68-7131 FAX 0898-68-0705  
http://www.mitsuwa-ele.co.jp

普27回卒業 渡部 英志



株式会社 **マルワ**

〒799-1371 愛媛県西条市周布571番地2  
TEL 0898-64-2237 FAX 0898-64-2818

昭和47年卒業 芥川 衛司



**東洋管工株式会社**

〒799-1354 愛媛県西条市北条1009番地  
TEL 0898-64-1010  
給排水設備・空調設備

昭和54年卒業 藤岡 直哉

# あの日 あの時

## ソフトボール部の思い出

昭和39年(家)卒

丹下輝子  
(旧姓 眞田)

卒業後五十七年の月日を数えており  
ます。当時の思い出を探っているの  
すが…。

入部当時、三年生、二年生の規律の  
すばらしさ、こわかったように思いま  
す。でも慣れてくると和気藹々楽しい  
毎日だったと思います。放課後部室で、  
白いトレパンと白い運動服に着替え、  
ボール、バット等用具一式を運動場に  
運び出すことから始まり、ラジオ体操  
をし、グラウンドの中を走り、キャッ  
チボール。と、毎日の工程で楽しく時  
間を過ごしていました。砂田先生の  
ノックを受け取れなかった時の悔しさ  
等、懐かしい光景が頭をかすめます。

練習試合がある時には、自転車に用  
具一式を積み持って。また、松山に試合  
に行く時は汽車で小松から松山まで行



き、歩いて試合をする学校に往復した  
ものです(今の生徒さんには考えられ  
ないことだと思えますが、当時はそれ  
しかなかったのです)。先生と生徒のつ  
ながりもそんな状態の中で家族の様に  
築かれていったのでしようか。いつば  
い話をし、時には歌も歌いながら、駅ま  
での道のりを楽しんだものです。

試合の成績ですが小松高校は強い方  
でした。愛媛県大会は毎年行かせても  
らいました。松山女子商業高校(今は  
聖カタリナ学園高校)や、今治明德高  
校と当たらなければ勝ち進んでいまし  
たが、優勝の思い出はありません。

私が一年の時には、野球部と同じグ  
ラウンドで練習をしていて、その後、  
家政科のあるグラウンド(今は小松公  
民館、保育所)に移り練習をしていま  
した。その当時の写真がなくて、何人  
かの人に聞き探してもらって、後輩の  
横山さん(旧姓 越智さん)より借り  
ることができ、繋がり素晴らしさに  
感激しております。横山さん、ありが  
とうございました。お会いできたこの  
機会に当時のソフトボール部の皆さん

と会えることができる場を持ちたいも  
のです。

昨年から突然の新型コロナウイルス  
感染症拡大で世界中大変なことになっ  
ていますが、どうか早く『平和な世の  
中』になってくれることをお祈りしま  
す。

後輩の皆様、自分の行動に責任を持  
ち、豊かな人生をお送り下さい。私も  
元気で、いつまでも若い皆様と一緒  
に世の中を楽しみたいです。



**四国総合保険事務所 株式会社**

FIRE  
CAR  
LIFE

事務所 / 〒790-0913  
松山市畑寺1丁目14-32  
TEL (089) 932-1890(代)  
FAX (089) 943-6943  
携帯 090-8694-2857  
E-mail: koichi\_mori@cnc-catv.ne.jp

取締役 昭和52年卒業 森 浩一

**SOFT LINK**

**ソフトリンク株式会社**

本社 福岡市博多区博多駅前3-7-35 〒812-0011  
博多ハイテックビル  
TEL: (092) 437-5030 FAX: (092) 437-5031  
E-mail: ito@e-softlink.co.jp  
URL: http://www.e-softlink.co.jp

代表取締役 昭和45年卒業 伊藤 壽男

**TOSA YOZAI Co., Ltd.**

**土佐溶材有限会社**

土佐溶材

〒781-0112 高知県高知市仁井田4591-3  
TEL (088) 837-3466 FAX (088) 837-3477  
mob : 090-5273-0673  
E-mail: naoyuki.fujiwara.mh6@acrowel.com

取締役社長 昭和51年卒業 藤原 直之

**道後 御湯**

**株式会社 宝荘ホテル**

〒790-0836 愛媛県松山市道後麓宮町2-20  
TEL (089) 931-7111 FAX (089) 932-8807  
URL: https://www.dogomiyu.jp E-mail: miyazaki@takaraso.co.jp

代表取締役 社長  
昭和50年卒業 宮崎(佐伯)光彦

**有限会社 テルサポート**

**TEL**

TEL (0897) 56-1900 FAX (0897) 53-1685  
愛媛県西条市樋之口318-6 携帯: 090-5913-6980  
E-mail: tell1900@isis.ocn.ne.jp

代表取締役 高橋 信晃  
平成23年卒業 高橋 荘多

**株式会社 H&M** High quality design & Material  
一級建築士事務所

〒793-0041 愛媛県西条市神拝甲150-1 SICS インキュベーションNO.4  
TEL: 0897-47-5977 FAX: 0897-47-5966 Mobile: 090-7785-2057  
E-mail: handm-2013@khf.biglobe.ne.jp Mobile-mail: handm-111@docomo.ne.jp  
web site URL: http://www.handm-2013.com

一級建築士 二級土木施工管理技士  
一級建築施工管理技士 応急危険度判定士

代表取締役 昭和59年卒業 山本 宏

令和最初の卒業式に参加して

昭和45年卒 崎 田 郷 史



令和二年三月一日に開催された卒業式に、卒業後、五十年を迎える私たちを招待いただきました。

丁度この時期に、新型コロナウイルス感染が猛威を振るい、国際的にも、緊急事態宣言が出され、わが国も感染症対策本部を設置し、今に至っております。

今までにない、新しい感染症により、一年前から同級生一同が、小松高校に集い、懐かしい青春の日々を思いだし、お互いに、感動を共有することを楽しみに、同級会も含めて準備を進めておりましたが、残念ながら、卒業証書授与式のみ、自主判断による代表した十名のみ参加となりました。

当日は、晴天に恵まれ爽やかな弥生三月の下、澁瀬とした卒業生の皆さんに会って、

遂この間までの、学生の頃に戻ったような、気になりました。この校舎で共に学び、動き、また悩み等々、いろいろなきことを懐かしく思い出されました。



私達の三年生当時は、アポロ11号月面着陸、松山商対三沢戦甲子園史上初決勝引分け再試合、フオーキングブームそして東大安田講堂事件など様々な出来事がありました。

今は正に、世界を揺るがし、先の見通せない大変な時を迎えております。数々の感動と大切な出会いを多く創ってくれました母校に感謝すると同時に、これからもこの素晴らしい繋がりを、もつともっと大切に、心豊かに、取り組んでゆかなければならないと、思っているところでございます。

凜とした式典の中、素晴らしい感動の機会を頂きました学校長はじめ、関係各位に、深く感謝申し上げますとともに、小松高等学校の、今後益々のご隆盛と、在校生の皆さんのご活躍、卒業生各位のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。感謝

受章・表彰



2020. 5. 15 愛媛県文化協会 第23回 地域文化功労賞 西条市文化協会 嶋 崎 祥 子 氏 (普15回卒)

役職

- (現) 西条市文化協会副会長
(現) 西条市小松文化協会会長
(現) 西条市小松文化協会 箏曲小松しらべの会代表
(現) 西条市小松文化協会副会長
(現) 箏曲宮城会 全国理事・四国支部長



瑞宝双光章 社会福祉功労 佐 伯 由 貴 恵 氏 (家6回卒) 民生・児童委員

小松高校に通ったなら「めしや菓舗」さんの「よし乃餅」は、懐かしの味、思い出の味として記憶されていますよね。 江戸時代天保九年(一八三八年)に創業した 「めしや菓舗」さん。小松藩主一柳頼紹公に「めしや」と言う屋号をもらったところからはじまっているぞ



うです。 よし乃餅 は、天保九年に四国八十八カ所巡礼中の大和の国の僧に教えてもらった、なめらかな「こし餡」を求肥でくるんである餅菓子です。一口サイズで美味しい・止まらない小松高生の定番お菓子ですね。 現在も伝統の味は健在で、最近はお「おはぎ」も人気商品となっています。



有限会社 太陽

浄化槽保守点検業 愛媛県知事(登-24)第305号 〒793-0035 愛媛県西条市福武甲2129番地1 代表取締役 平成2年卒業 工藤 剛



〒790-0001 松山市一番町2丁目1-3 Mビル1F TEL 089-933-1811 代表 昭和62年卒業 白木 秀幸



造園工事・外構工事・土木工事 株式会社 ひらい緑地 携帯電話 090-4506-0742 【事務所】 〒791-0243 松山市平井町2388番地の1 TEL:089-976-4128 FAX:089-976-4440 E-mail: hirai@ivy.ocn.ne.jp 【西条支店】 〒799-1312 西条市大野424-1 代表取締役 昭和62年卒業 菅 基裕

「最高の仲間」



生徒会長 西山 空

小松高校に入学してからあっという間に三年が経ちました。私は、ここ小松高校で沢山のことを学び、沢山の仲間と出会うことができました。

私は、初心者ながらサッカー部に入部しました。初心者ということもあり、練習についていけないのか、三年間頑張っていたのかなど不安なことばかりでした。部活動を続けていく中で悔しいことや辛いことなど数多くの経験を積み人間力を磨いてきました。そして、最後まで諦めずに練習に励んだおかげで最後の試合に出場できたことは私の宝物になりました。こうやって三年間頑張れたのは、先生方やチームメイトがかけてくれた優しく時には厳しい言葉のおかげだと感謝しています。

私は、小松高校に入学し、最高の部活動、そして最高のチームメイトに出会うことができました。充実した高校生活を送ることができました。卒業してからもこの絆を大切にしたいと思います。各クラスの養正会幹事の皆さんを紹介させていただきます。

令和2年度3年生進路決定状況

2021/1/17現在

Table listing university and college admissions for the 2020-2021 academic year, categorized by university type (4-year, short-term, specialized).

Table listing job placements for graduates, including various roles like operator, clerk, and technician across different companies.

養正会からのお知らせ

会員の皆様には、養正会活動にご理解ご協力をいただき有難うございます。養正会では、小松高校の一一五周年に併せて、五年ごとの養正会名簿の発行を行うことになりました。この名簿は養正会にとっては特に必要で大切なものであります。皆さんのご協力が必要で、誠に申し訳ないお願いいたします。

養正会報ですが今年から全会員に配布することになりました。配布することにより養正会と母校小松高校の情報が発信できるものと思っております。

ただ養正会の現状は入金金が会の収入の大半を占めている状況で運営をしています。これからこの状況を考慮したうえで、会員の皆様に養正会活動協力金(一口二、〇〇〇円)のお願いをすることになりました。協力金は任意でありますのでご理解をいただければと思います。振込用紙は広報誌の発送の時に同封させていただきますのでよろしくお願いたします。

広報誌に投稿のお願いですが、各地域で同級会、少年数の集まり、クラブOB会の集まりなどが行われていると思いますし、昔の思い出等も載せていきたいと思います。写真と原稿を事務局まで送っていただけませんか。ご協力よろしくお願いたします。養正会に対してのご意見ご要望及びご質問等がありましたら、事務局までご連絡ください。

令和三年度 養正会総会

関東支部総会 八月二八日(土) 帝国ホテル東京(千代田区) 本館総会・松山支部総会・関西支部総会につきましても開催に向けて準備中です!

令和三年度 行事予定

Calendar of events for the 2021-2022 fiscal year, including entrance ceremonies and graduation ceremonies.